

第 21 回岐阜コンテスト講評 もう一度コンテストのルールを理解することで楽しさ倍増！  
 (2018-07-04 文責：JE2SOY 成瀬有二)

コンテストも終わり、紙ログも着々と到着し、審査のため整理しています。整理して気付いたことですが、最近、不備なものが増えてきたような気がしています。コンテストサマリー・ログを何故そのように書いてほしいかを解説していきます。

(1) ログのマルチ欄にはマルチの数(1)を記入するのではなく、カウントするマルチの都道府県ナンバー・市郡ナンバーを記入する。

これはマルチの欄にカウントすべき都道府県ナンバー・市郡ナンバー抜き出して記入することで、重複カウントしていないかどうか審査する側で確認しやすくするためです。カウントしているアピールとして「1」を書くコンテストもあるようですが、この場合、審査する際に、マルチを計上している QSO のコンテストナンバーの欄を再度チェックし、マルチの内容を確認しなければなりません。それに対して、マルチをそのまま欄に記入すれば、確認しなければならない欄が減るので審査する側では大変見やすくなります。また、重複カウントを簡単に抜き出すことができます。マイナーなコンテストで参加者やマルチの数が限られているのならいざ知らず、JARL (支部) 主催のコンテストでは優勝する局は 100 QSO's・50 マルチ越えのことが多いため、審査の省力化・迅速化に協力していただけたらと思います。

実際の例を示します：

10	"	"	"	"	11		1
	"	"	"	"	22	1	1
	"	"	"	"	1919	1	1
	"	"	"	"	13	1	1
	"	"	"	"	21	1	1
	"	"	"	"	1903	1	1
	"	"	"	"	42	1	1
	"	"	"	"	24	1	1
	"	"	"	"	14	1	1
	"	"	"	"	20	1	1
	"	"	"	"	13	1	1
	"	"	"	"	25	1	1
20	"	"	"	"	29	1	1
	"	"	"	"	29	1	1
	"	"	"	"	22	1	1
	"	"	"	"	12	1	1
	"	"	"	"	1905	1	1

この場合、マルチ1減になるので再計算・減点になります。ただ、電子ログの場合には有無を言わず

全データ読みこみ・再計算になるのでどのように記入しようがかまわないというのがあります。

(2) 必ず送信ナンバーを記入のこと

交信ナンバーを記入していないログもありました。同様に例を示します：

Date Time	Station Wkd	Exchange		Multi	Pts
月日 時分 JST	交信局	Sent (送信)	Received (受信)	マルチ	得点
6月10日		59 1915	59 1913	1913	1
			59 19012	19012	1
			59 20	20	1
			59 1913		1
			59 1913		1
			59 19012		1
			59 19012		1
			59 20		1
			59 1915	1915	1
			59 20		1

この場合、ナンバー交換が不完全とみなされ、一番上の交信以外は無効になってしまいます。必ず、「」、 「同上」または下向き矢印「↓」で同じナンバーを送ったことを示す必要があります。

(3) その他要望として

電子ログの場合には、できれば古いバージョンでお送りください。新しいバージョンは全データについてコンピュータ読み込み・再計算を前提としているため、必ずしも含めなくてよい情報をそぎ落としています。そのため、不備があった場合には失格か再提出になります。それに対して、古いバージョンではすべての情報を網羅しているので、たとえ間違いがあっても軽微な事項についてはこちらで修正の上で受領・参加とすることができます。